

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
トライデント外国語・ホテル・ブライダル専門学校	昭和51年4月1日	坂本 直之	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-1-11 (電話) 052-582-1770				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人河合塾学園	昭和53年8月1日	河合 弘登	〒461-8611 名古屋市中村区今池1-5-31 (電話) 052-735-1600				
目的	世界共通語の1つである英語を実務・実用レベルまで習得させ、必要とされるビジネス能力、対人サービス能力も踏まえ、国際社会に貢献できる人材育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化教養専門課程	英米語学科	平成22年文部科学大臣告示第153号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1800	960	2580	240	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80人	108人	10人	4人	14人			
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席・成果物、小テスト・定期試験等による総合判定。全クラス第1講で担当講師より講義計画書配布説明実施			
長期休み	■学年始め: 4月1日 ■夏季: 7月20日～8月31日 ■冬季: 12月24日～1月7日 ■学年末: 3月19日～3月31日		卒業・進級条件	進級・卒業は当年次に30単位・27単位以上取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個別、あるいは保護者同席での面談		課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ロフト名古屋 エルシ トoriumヘリイ名古屋 日本トラフィックサービス イオンリテール 郵船ロジスティクス他 ■就職率 ^{※1} : 95.8% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 85.2% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年3月31日時点の情報)		主な資格・検定等	実用英語技能検定 TOEICテスト 観光英検 貿易実務検定 日本語ワープロ検定 秘書技能検定 EXCEL検定 サービス接客検定			
中途退学の現状	■中途退学者 2名 ■中退率 2.5% 平成27年4月1日 在学者 81名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 79名 (平成28年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、体調不良、学業不応 ■中退防止のための取組 個別面談、保護者会の実施、学費支援制度の導入						
ホームページ	URL: http://gaikokugo.trident.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

現在の英米語関連企業・協会における状況を把握し、最新の知識や技術を吸収し教育内容に反映していくことは、もちろん、学生への教授方法や仕事の進め方なども熟知したうえで実施するため、本校で開催する教育課程編成委員会においては、関連企業、業界団体からの要請、提言を聴取し、該当学科の教育運営に資することを目的とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名前	所属
青山 己織	M&M通訳メイト(有)
村瀬 禎浩	(株)日本トータルアカデミー
大堀 貴弘	一般財団法人 日本ホテル教育センター
渡辺 淳	全国語学ビジネス観光教育協会
岩瀬 正明	名古屋鉄道(株)

(開催日時)

第1回 平成28年8月23日 14:00~15:20

第2回 平成29年2月14日 14:00~15:15

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業との連携による実習・演習等の科目においては、各分野で活躍されている講師を招き、ゼミ科目で企業の求める業務水準を現実的に体感させることを目的に設定する。疑似体験的な講義・演習を通じて、各分野の現場で日常使われている技術・知識を習得させる。評価については企業の現実の評価基準を確認しながら、常勤講師と相談のうえを実施していただく。社会人への準備として必要なキャリアデザイン、資格検定についても実績の高い企業と連携をし、有能な人材を社会に送り出す。また、こうした講義・演習全体を通じて、社会人基礎力を涵養していくことも合わせて目的に設定する。

科目名	科目概要	連携企業等
総合英語ゼミ・英語通訳ゼミ	このゼミは、学年とともに学習内容は高度になり、通訳に必要な知識とスキルを身に付ける。業界ニーズを熟知した講師による指導のもと、1年次は「英日文章表現」、「通訳入門」、「リスニング強化」といった科目を通し、日常的なシーンを想定した状況で、①英語を正確に聞き取る力、②聞き取った英語を正確な日本語に訳す力を重点的に養っていく。2年次は「通訳演習」「応用会話表現」、「エスコート通訳」、「International Communication」といった科目を通し、日常的なシーンでなく、ビジネスシーンにおける、①英語を正確に聞き取る力と②聞き取った英語を正確な日本語に訳す力の能力を更に向上させ、かつ③伝えたい内容を正確に英語に訳す力を養ってい	M&M通訳メイト有限会社 有限会社アイシーエス
キャリアデザイン	社会人として活躍するための重要な能力のひとつである「社会人基礎力」は2006年経済産業省から提案された。大学や専門学校などの高等教育機関のカリキュラムに導入され、一部企業では職員研修、評価制度などにも使用されてきている。本講座では、社会人基礎力を理解し、学科専攻に必要な各要素を入れながら、社会人として必要な基本スキルを自主的に身につけさせる。	有限会社畠山企画

コンピュータ	パソコンを自由自在に使いこなせることは、社会人の必須条件である。マーケティングの基礎を、市場調査、商品企画、提案書、販売促進、といった具合に流れを学び、それらの資料作りを学ぶ。ワード、エクセル、パワーポイントなどを利用して、より見やすくわかりやすい内容の資料を作成する。 前期に学んでパソコン知識からさらに応用機能を使いながら、作成していくことを学ぶ。	株式会社K's System
--------	---	----------------

3. 教員の研修等

専門学校教員として、自己の専門分野における最先端の知識・技術の習得のために、業務上一定の時間を費やすことを学校として求めている。研修等の諸規定に定められている通り、年度の当初に学科チーフと学科長、各教員で実施する研修についての年間計画を立案し1名あたり2～3回の研修を義務づけている。教員はそれらの研修を通じて各々が専門分野の知識向上に務めている。また、専門知識のみではなく、授業に関わる技術など教育力向上のための機会についても法人全体の課題として取り組んでいく。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
渡辺 勝吉	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
野田 育子	有限会社Produce:l (元NHKアナウンサー)
丸山 茂樹	I.C.NAGOYA日本語学校
大野 勝蔵	愛知県商店街振興組合連合会 瑞穂通商店街振興組合
上福元 諭	ソニー生命保険株式会社
近藤 俊則	元郵船トラベル株式会社

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://gaikokugo.trident.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://gaikokugo.trident.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 英米語学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			英会話リスニング演習 (EG/LC)	ネイティブ・スピーカーによる小人数編成のクラスで、リスニング・スピーキングを融合して、1対1、ペア、グループなど、さまざまな形態でのコミュニケーション能力を養成する。また、身近な問題から社会問題や英語圏の文化・生活様式にも触れ、さまざまなトピックに対応できることを目標とする。リスニングは、一語一語わからなくても、全体の内容を推測しながら把握できるようにする。スピーキングは、受身にならず間違いを恐れず積極的に話すことで、流暢な会話力の獲得を目標とする。	1・2通	300	10	△	○		○			○	
○			読解演習 (RC)	日本語に置き換えずに、内容を把握する練習を行う。語彙力と単語の推測力をつけることによって読解力を伸ばす。	1・2通	240	8	△	○		○			○	
○			英作文 (CP)	ワンセンテンスからパラグラフ、そしてストーリーへと文章を積み上げていく。語彙・文型に注意しながら、表現したいことを伝える。エッセイ・ビジネス文書作成を目標として、海外やビジネス社会で活用できるライティング力の育成を図る。	1・2通	120	4	○			○			○	
○			英語有用表現・発音演習 (UE&P)	日常生活の決まり文句、必要な表現を学ぶ。それと併せ、日本人の苦手な音のうち、意味の違いをもたらす音、すなわち、間違えるとコミュニケーションに支障をきたす音を重点的に矯正練習する。目標は学んだ表現をすべて使いこなすことができると同時に、会話をスムーズに進めるためのルール、マナーも習得することである。EC/LCの授業や外国人との実際の会話の中で、どんどん応用してほしい。	1通・2前	90	3	△	○		○			○	
○			英語有用構文 (ES)	英語のコミュニケーション能力を高めるために必要な文法と構文(運用文法)を学ぶ。会話力の向上と同時に、英文を読んだり、書いたりする力を伸ばす。	1通	60	2	○	△		○			○	
○			Content Subjects	1年次でレベルアップした英語力を活用し、音楽・映画・ドラマ、環境・健康・世界遺産などの具体的テーマにネイティブ・スピーカーの指導で取り組み、英語で様々なトピックを理解し、使える英語の習得を目標とする。	2通	60	2	○			○			○	

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 英米語学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コンピュータ I・II・III・ IV	パソコンを自由自在に使いこなせることは、社会人の必須条件である。1年目(I & II)のカリキュラムでは、アプリケーションソフトを知ることから始まり、文書作成、編集、表作成を学んでいく。また、表計算ソフトから、データベース・グラフ・ワークシートの連携等も習得する。2年目(III & IV)では、各種関数の活用などを演習から学び、授業の総仕上げとしてプレゼンテーションツールを作成・発表する。	1・ 2 通	120	4			○	○			○	○
○			実用英検対策	「実用英語検定」の受験対策として、すでに取得済みの級より上位の級の合格を目指す授業で、文法イディオム、並べ替え、読解など、受験生が苦手とする分野を中心に行われる。検定に合格するためには単にこの授業に参加するだけでなく、自宅学習も必要である。	1 前	30	1	△	○		○			○	
○			TOEIC対策	英語の総合的なコミュニケーション能力を判定するTOEICは、出題形式に慣れれば高得点が期待できるテストである。講座では、テストで必要とされるビジネス知識を含めて、リスニング・文法・読解の全分野にわたり、出題形式に添った実践的なトレーニングを行う。	1・ 2 通	120	4	△	○		○		○		
○			キャリアデザイン	学生自身がトライデントで何を学び、卒業後はどうなりたいのかというキャリアビジョンの構築を図り、就職実践対策として各種の試験対策、面接対策等で内定を勝ち取る。	1 通・ 2 前	90	3	○	△		○			○	○
○			ヨーロッパ言語	英語以外の外国語として、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、フランス語等から1つを選び、基礎的な会話能力を身につける。	2 通	60	2	○			○			○	
○			総合英語ゼミ	総合英語ゼミは、専攻の特性を生かし、英語通訳ゼミと英語翻訳ゼミより本人の選択で決定する。それぞれの科目の狙いは、以下、1年次英語通訳ゼミと英語翻訳ゼミの内容を参照のこと。	1・ 2 通	360	12	△	○		○			○	○

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 英米語学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		英語通訳ゼミ	英語通訳ゼミは、学年とともに学習内容は高度になり、通訳に必要な知識とスキルを身につける。業界ニーズを熟知した講師による指導のもと、1年次は「英日文章表現」、「通訳入門」、「リスニング強化」といった科目を通し、日常的なシーンを想定した状況で、①英語を正確に聞き取る力、②聞き取った英語を正確な日本語に訳す力を重点的に養っていく。2年次は「応用会話表現」、「エスコート通訳」、「International Communication」といった科目を通し、日常的なシーンだけでなく、ビジネスシーンにおける、①英語を正確に聞き取る力と②聞き取った英語を正確な日本語に訳す力の能力を更に向上させ、かつ③伝えたい内容を正確に英語に訳す力を養っていく。	1・2通	360	12	△	○		○		○	○	
	○		英語翻訳ゼミ	英語翻訳ゼミは、学年とともに学習内容は高度になり、翻訳に必要な知識とスキルを身につける。業界ニーズを熟知した講師による指導のもと、1年次は「英日文章表現」、「翻訳入門」、「日本語表現」といった科目を通し、正確な日本語表現を学び、簡単な英語翻訳を繰り返すことで、正確な翻訳技術の向上を図る。2年次は、「Research & Presentation」、「映像翻訳」、「News Media翻訳」といった科目を通し、ビジネスシーンにおける通常業務書類から重要書類にわたる翻訳技術や、映像やニュースなどのメディアで必要とされる翻訳技術の習得を狙いとす。	1・2通	360	12	△	○		○		○		
	○		児童英語教育ゼミ	児童英語において最も効果的なsongやchantsを多用した指導方法を習得を目指す。「児童英語入門」と「Material Creation」では、児童英語の基本指導理論を学び、実際のレッスンで使用する教材を、自らの手で作ることができるようにする。また、「Song&Chants」、「英語によるゲーム指導」、「高学年指導法」、「From ABC to Reading」といった授業では、指導理論を元としながら、songやchants、ゲームを主体としたオリジナルレッスンを、計画→実践→改善できるようにする。2年次は、「発達心理学」と「児童英語指導法」を通し、オリジナルレッスンの計画と実践を深化させ、「教育実習」においては、学習した全ての要素を踏まえ、外部の児童英語教室や商学連携プログラムでのオリジナルレッスンを実践する。また、「小学校英語Ⅰ・Ⅱ」を通じ、児童英語の中でも、若干アプローチが変化する小学校5年生と6年生の指導理論と指導法の習得を目指す。	1・2通	360	12	△	○		○		○		

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 英米語学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			国際ビジネスゼミ	1年次は、国際ビジネスに必要な知識とスキルを身につける。「貿易実務Ⅰ・Ⅱ」、「貿易実務検定Ⅰ・Ⅱ」といった授業では、貿易における実務的な知識習得に加えて、貿易実務検定C級の合格(実際の受験は1年後期～2年前期)に結びつく基本知識の習得を目指す。また、「ビジネス英語」、「セルフクリエイション」といった授業を通して、それぞれの国によって異なるビジネス慣習や考え方、ビジネスの進め方にも論及し、英語学習の具体的な応用の一側面と位置づけ、求められる知識と業界ニーズの習得を促す。2年次は、「貿易実務Ⅲ」と「貿易実務検定Ⅲ」の授業において、貿易実務検定C級の実験の受験と合格を目指し、「ビジネスマナー」や「Internet Research & Presentaion」といった授業で、1年次に学んだビジネス英語や慣習、ビジネスの流れをもとに、実際に商品の模擬輸出入をプレゼンテーションできる能力の養成を目指す。	1 ・ 2 ・ 通	360	12	△	○		○		○		
○			ホームページ制作演習	様々なフリーソフトを使って、テキスト・静止画像・動画像・音楽などマルチメディア素材を含む、ホームページの制作を学ぶ。タグ挿入型ソフトを使って、HTMLを理解し基本を習得する。ホームページ制作能力検定にも対応する内容を行う。	2 前	30	1	△		○	○				○
○			アジア言語基礎	近年ますます増える外国人旅行者に対して、特に需要が大きい「中国語」「韓国語」について、接客業務に必要な基礎的な語学およびその国の文化等を学習する。	2 後	30	1	○			○				○
○			英語検定対策	準1級・2級の受験対策として、リスニング・文法イディオム・読解など、受験者が苦手とする分野を中心に行われる。自宅学習も検定合格のための重要な要素となる。	1 後・ 2 前	90	2	○			○				○
○			観光英検対策	ホテル、旅行業等観光業に従事するために必要とされる語彙力・表現力を身につけ、検定2級の取得を目指す。	1 後・ 2 通	90	2	○			○				○

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 英米語学科) 平成27年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
	○		サービス接遇対策	(財)実務技能検定協会主催の検定で、理論では、一般知識、専門知識を問われる。実技では、対人技能、実務技能が問われ、いずれも、サービススタッフとして備えておくべき基本的な知識・技能であり、在学中に2級以上の取得を目指す。	1 後・ 2 通	90	2	○			○			○		
	○		ビジネス能力検定対策	社会人に必要な仕事の能力を客観的に評価する検定試験。基本的なビジネスマナーが身につく試験内容であり、どの業種においてもある程度の効果がある資格。	1 後・ 2 通	90	2	○			○				○	
	○		ワープロ検定対策	日本語ワープロの適正・有効な利用を通じて、日本語文書処理能力の向上をはかり、高度情報社会の発展に貢献できる人材の育成を目的として実施するもの。準2級以上の取得を目指したい。	1 後・ 2 通	90	2	△			○	○				○
	○		自己啓発講座	学生の自己啓発を目的とし、企画・コミュニケーション実習(商学連携)等を実施する。	1 後・ 2 通	90	2	○			○			○		
	○		秘書検定対策	事務処理、情報処理、マナー、接遇の技能のスペシャリストとして、重要な役割を果たす秘書の技能検定の合格対策を行う。	1 後・ 2 通	90	2	○			○					○
合計				25科目												1800単位時間(60単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
進級・卒業は、当年次に30単位・27単位以上取得して、進級もしくは、卒業判定会議で承認されること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。